

MIYAGI UNIVERSITY

GRADUATE SCHOOL OF PROJECT DESIGN

令和6年度入学

宮城大学大学院
事業構想学研究科（博士後期課程）
第2期募集

学 生 募 集 要 項



宮 城 大 学

【書類提出先・問い合わせ先】 宮城大学アドミッションセンター
〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1（大和キャンパス）
電話 022-377-8359 E-Mail nyushi(a)myu.ac.jp
メールアドレスは(a)を@に変換して使用ください。

目 次

宮城大学大学院及び事業構想学研究科アドミッション・ポリシー	1
1 募集人員	2
2 出願資格	2
3 入学資格審査	2
4 出願手続	4
5 選抜方法等	6
6 合格発表	6
7 入学手続	6
8 初年度納付金（令和5年度入学者実績）	8
9 その他	8
研究計画書記載例	10
事業構想学研究科博士後期課程（事業構想学専攻） 概要	11
入学者選拔手数料支払方法のご案内	26
試験会場案内	27

宮城大学大学院アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

宮城大学大学院は、本学の理念や各研究科の人材養成目標を理解し、意欲を持って主体的に学修に取り組み、高度専門職業人又は研究者として積極的に地域社会に貢献しようとする意志と、そのための基礎となる広い視野と必要な学力を備えた学生を求めています。

【入学者選抜方針】

専門領域に関する試験（筆答試験、口述試験等）、外国語（英語）、小論文、面接、出願書類などによって、必要な学力や知識及び技術、意欲、適性を評価します。

事業構想学研究科アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

事業構想学研究科博士前期課程では、事業構想に関する知識やスキルの高度化に強い意欲を持つ人を受け入れます。

事業構想学研究科博士後期課程では、事業構想に関する専門的な知識又は高度な経験を有し、自らの専門領域の研究に強い意欲を持つ人を受け入れます。

【入学者選抜方針】

事業構想学研究科博士前期課程では、以下の入学者選抜により、専門領域に関する知識や論理的思考能力、表現力、コミュニケーション能力のほか、自らの専門領域のみならず関連領域に対する関心、勉学や研究に対するスキルの高度化への意欲及び適性を評価します。

- （１）入学者選抜は、一般選抜、社会人特別選抜（通常枠及び地方自治体派遣枠）、外国人留学生特別選抜、推薦入学特別選抜によって行います。
- （２）一般選抜では、論述専門科目、希望する専門分野に関する口頭試問を含む面接、本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコア、出願書類により入学者を選抜します。
- （３）社会人特別選抜では、通常枠においては、論述専門科目、希望する専門分野に関する口頭試問を含む面接、出願書類により入学者を選抜し、地方自治体派遣枠においては、研究計画書に関する口頭試問を含む面接と出願書類により入学者を選抜します。
- （４）外国人留学生特別選抜では、論述専門科目、希望する専門分野に関する口頭試問を含む面接、出願書類により入学者を選抜します。
- （５）推薦入学特別選抜では、出願時において宮城大学事業構想学群を卒業見込みであり、学業人物ともに極めて優れていると認定された者を対象に、面接と出願書類により入学者を選抜します。

事業構想学研究科博士後期課程では、以下の入学者選抜により、事業構想に関する専門的な知識又は高度な経験、論文執筆能力、研究遂行能力、コミュニケーション能力のほか、自らの専門領域の研究への意欲及び適性を評価します。

- （１）入学者選抜は、一般選抜によって行います。
- （２）一般選抜では、論述試験、口述試験、出願書類により入学者を選抜します。

令和6年度入学 宮城大学大学院 事業構想学研究科(博士後期課程)
第2期募集 募集要項

事業構想学研究科（博士後期課程）の学生を次のとおり募集します。

1 募集人員

研究科名	専攻名	課程名	募集人員
事業構想学研究科	事業構想学専攻	博士後期課程	1人

【注意事項】

出願を希望する方は、必ず、志望する専門領域の教員に今後の研究・教育の進め方・内容について、事前に電子メール等で相談し、受入れが可能であることを確認してください。教員の連絡先は25ページを参照してください。受入れが可能であることを確認せず出願された場合は、出願を受理できませんのでご了承ください。

2 出願資格

次の（１）～（８）のいずれかに該当する者

- （１）修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
 - （２）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
 - （３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
 - （４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
 - （５）国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
 - （６）外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び令和6年3月までに認められる見込みの者
 - （７）文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - イ 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ロ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（※）
 - （８）本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和6年3月までに24歳に達する者（※）
- ※ 出願資格（７）又は（８）により出願しようとする者は、入学資格審査が必要となりますので、「**3 入学資格審査**」の規定により、審査を申請してください。

3 入学資格審査

2 出願資格（７）又は（８）により出願しようとする者については、出願前に入学資格審査を行いますので、必要書類を次により提出してください。なお、出願資格を認定されない場合、出願は受理できませんので、あ

あらかじめ承知願います。

(1) 提出期限 **令和5年11月17日(金)**

イ 下記(3)の提出書類を簡易書留速達による郵送(当日消印有効)又は持参により提出してください。

提出書類一式は角形2号の封筒に入れ、封筒の表面に「事業構想学研究科出願資格認定審査申請」と朱書きしたうえで提出してください。

ロ 提出書類のうち、論文・作品・業績・成果物について、封筒に封入できない場合は、別途提出してください。また、提出書類一式の中に別途提出物がある旨を記載したメモを入れてください。

ハ 持参の場合、受付時間は午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとします。ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日は受付を行いません。

(2) 書類提出先 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

宮城大学アドミッションセンター

(3) 申請書類

※ 宮城大学ウェブサイトより、該当する様式を全て印刷の上、記入してください。

イ 出願資格(7)による出願者

提出書類等	摘要
入学資格審査申請書 【S-1票】	・ A4用紙に片面印刷したものを提出してください。 ・ 必要事項全てを記入し、該当項目に○印を付してください。
入学資格審査用履歴書 【S-2票】	・ A4用紙に両面印刷したものを提出してください。 ・ 学歴、職歴及び研究歴等を記入してください。
入学資格審査申請者業績レポート【S-3票】	・ A4用紙に両面印刷したものを提出してください。 ・ 職業活動における経歴及び業績を記入してください。
成績証明書	出身大学の長が作成し、厳封されたものを提出してください。
学籍等に関する証明書	大学等の卒業・修了(見込)証明書及び在籍期間証明書(在学中又は中台の場合に限ります。)を各学校の様式で提出してください。
職歴を証する書類	業績等について内容を記載した書類(様式任意)を添付してください。
在職中の研修歴及び研修内容・時間を証する書類	業績等について内容を記載した書類(様式任意)を添付してください。
その他個別判断に該当する基準に係るもの	・ 各種資格取得証明書、論文・作品・業績や成果物(現物の提出が不可能な場合は、写真等により内容を把握できるもの)及び当該内容が申請者自らのものであることを証明する書類(内容によっては疎明書類、例えば各種媒体での紹介記事等をもって証明する書類に準じる扱いをすることもあります。)を提出してください。 ・ 返却を希望する場合は、別途所要の切手を貼付した封筒又は必要事項を記入した宅配便等の着払い伝票を同封してください。
戸籍抄本 【該当者のみ提出】	各種証明書類の氏名と現在の氏名が異なる場合に限り、提出してください。
審査結果通知用切手344円分	

ロ 出願資格(8)による出願者

出願資格(8)によって出願しようとする者の申請書類については、あらかじめ宮城大学アドミッションセンターへ照会してください。

(4) 注意事項

イ 提出書類に不足がある場合は受理できませんので、申請の際は十分に確認してください。提出書類に不備がある場合は、期限を定めて補正又は書類の追加提出を指示しますが、期限内に補正又は追加提出がない場合は、受理できません。

- ロ 申請後に氏名、住所、電話番号等に変更があった場合は、速やかに宮城大学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ハ 受理した書類は、原則として返還しません。
- ニ 提出書類のうち、外国語で記載された証明書等は、必ず日本語訳を添付してください。

(5) 審査結果通知

- イ 審査結果は、令和5年12月1日（金）までに、申請者本人宛てに郵送により通知します。なお、認定者は、**4 出願手続**により出願手続をしてください。
- ロ 審査結果が、令和5年12月7日（木）までに通知されていない場合は、宮城大学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ハ 出願資格認定後であっても、提出書類の記載事項と相違する事実が確認された場合は、出願資格認定を取り消すことがあります。

4 出願手続

(1) 出願期間 **令和5年12月15日（金）から令和5年12月22日（金）まで**

- イ 下記（4）の出願書類を簡易書留速達による郵送（当日消印有効）又は持参により提出してください。
- ロ 持参の場合、受付時間は午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとします。ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日は受付を行いません。

(2) 出願先 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

宮城大学アドミッションセンター

(3) 入学者選抜手数料

入学者選抜手数料 30,000 円を出願期間内に、最寄りの金融機関窓口（本学所定の様式【**A-2票**】を使用。ただし、ゆうちょ銀行・郵便局を除く。）又はコンビニエンスストアで納付してください。なお、いずれの方法で納付する場合も、振込（払込）手数料が別途かかります。

※ コンビニエンスストアでの手続の詳細については26ページ参照

(4) 出願書類

※ 出願の際は、宮城大学ウェブサイトより、**A～D票を全て印刷の上、記入してください。**

提出書類等	摘要
入学願書【 A-1票 】	・ A4用紙に<u>両面印刷</u>したものを提出してください。 ・ 必要事項全てを記入し、該当項目に○印を付してください。
選抜手数料振込依頼書のうち振込証明書（大学提出用）【 A-2票 】 又は 収納証明書	【入学者選抜手数料を所定の振込依頼書で払い込む場合】 入学者選抜手数料として 30,000 円を本学所定の振込依頼書【A-2票】で、出願期間内に金融機関から電信扱いで振り込んでください（ただし、ゆうちょ銀行・郵便局を除く）。振り込み後、「振込証明書（大学提出用）」（大学提出用として金融機関から渡されたもの）を切り取ったものを【A-1票】裏面の所定の欄に貼り付けてください。 【入学者選抜手数料をコンビニエンスストアで払い込む場合】 コンビニエンスストアで発行された「取扱明細書（兼領収書）」の「収納証明書」部分を切り取ったものを【A-1票】裏面の所定の欄に貼り付けてください。
入学試験受験票【 B-1票 】 入学試験写真票【 B-2票 】	・ A4用紙に<u>片面印刷</u>したものを提出してください。 ・ 必要事項全てを記入し、該当項目に○印を付すとともに、出願前3か月以内に撮影した、正面上半身、無帽、無背景の写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。 ・ 受験票、写真票に貼付する写真は、<u>同一の写真</u>を使用し、裏面に氏名を記載してください。 ・ <u>【B-1票】と【B-2票】は切り離さないでください。</u>

提出書類等	摘要
出願用封筒貼付用紙【C票】	任意の角形2号の封筒（A4判の資料が入る大きさ）に、A4用紙に片面印刷した【C票】を印刷したものを貼り、必要事項全てを記入し、封筒に出願書類一式を入れ、提出してください。
郵便切手344円	受験票送付時に使用します。
出願者業績レポート【D票】	・ A4用紙に両面印刷したものを提出してください。 ・ これまでの研究業績（論文タイトル、発表年月、掲載誌名、単著・共著の区別、査読の有無、口頭発表の有無など）を記載してください。 ・ その他に、企業、官公庁、教育機関、研究機関及びその他各種団体等の在職経験又は活動経験を有する者は提出してください。
修了（見込）証明書または学位授与（申請受理）証明書	・ 在籍する大学院等の修了見込証明書、出身大学院等の修了証明書または本学大学院入学資格認定通知書等を提出してください。 ・ 大学改革支援・学位授与機構から学位授与された方は学位授与証明書を、申請中の場合は同機構が交付する学位授与申請受理証明書を提出してください。
成績証明書	出身大学院等の様式で提出してください。
研究計画書 【記載例10ページ】	・ 入学後の研究計画に関し、研究目的、研究動機・問題の背景及び研究方法等について記載してください。 ・ 作成に当たっては、A4判の用紙2枚を用い、ワープロソフトにより作成してください。使用する文字の大きさは10ポイント以上とし、本文4,000字以内で作成してください。必ず1枚目に氏名及び研究テーマを記入してください。なお、<u>本学ウェブサイトからテンプレートをダウンロードできます。</u> ・ <u>研究計画書は、願書受付後の補正はできません。指定書式を十分に確認してください。</u>
修士論文等の要旨 又は 研究の要旨	・ 修士の学位を有する者は、修士論文の要旨又は研究成果の要旨を提出してください。修士の学位を授与される見込みの者は、現在研究している研究の要旨を提出してください。 ・ 作成に当たっては、A4判の用紙1枚を用い、ワープロソフトにより作成してください。使用する文字の大きさは10ポイント以上とし、本文2,000字以内（1行当たり40字、全体で50行以内）で作成してください。
戸籍抄本 【該当者のみ提出】	各種証明書類の氏名と現在の氏名が異なる場合に限り、提出してください。
在留カードの写し 又は 住民票 【該当者のみ提出】	・ 日本国籍を有しない者は提出してください。 ・ 出願時点で、既に在留カードが交付されている方は、在留カードの両面コピー又は市区町村発行の住民票の原本（国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの）を提出してください。 ・ 住民票を提出する場合は、マイナンバーの記載のないものを提出してください。
旅券・査証の写し 【該当者のみ提出】	・ 日本国籍を有しない者は提出してください。

(5) 出願上の注意事項

イ 出願書類に不足がある場合は受理できませんので、出願の際は十分に確認してください。出願書類に不備がある場合は、期限を定めて補正又は追加提出を指示しますが、期限内に補正又は追加提出がない場合は、受理できません。

ロ 出願後に氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに宮城大学アドミッションセンターまで連絡してください。

- ハ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載事項と相違する事実が確認された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ニ 受理した出願書類及び入学者選抜手数料は、返還しません。
- ホ **出願書類のうち外国語で記載された証明書等は、必ず日本語訳を添付してください。**

(6) 受験票の送付

受験票は、願書受付後、令和6年1月9日（火）頃に発送する予定ですが、令和6年1月12日（金）までに受験票が届かない場合は、宮城大学アドミッションセンターに連絡してください。

(7) 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談

本学大学院への入学を志願する方で、障害を有する等、受験上又は修学上、特別な配慮を希望する場合は、令和5年12月1日（金）までに、その内容を宮城大学アドミッションセンターに相談してください。

5 選抜方法等

(1) 選抜方法

論述試験、口述試験（面接を兼ねる、以降同じ。）及び研究計画書等出願書類の内容を総合的に判定して行います。

(2) 試験日 **令和6年1月20日（土）**

(3) 試験会場 **宮城大学大和キャンパス 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1**

(4) 試験時間等

試験科目		試験時間	配点
口述試験	これまでの研究内容（修士論文の内容）及び入学後の研究計画等について行います。	各30分程度	100点
論述試験	入学後の研究に関連するテーマについて行います。	90分	100点

(5) 受験上の注意

- イ 受験者は、受験票送付の際に指定される時間までに、指定の試験室に入室し、着席してください。
- ロ 口述試験開始時に不在の場合は、欠席者として取り扱います。
- ハ 口述試験の際に自身の作品や成果物等を持ち込むことができます。
- ニ 試験日当日は、受験票を必ず持参してください。試験当日に受験票を忘れた場合は、仮受験票を発行しますので、受付に申し出てください。また、受験票は入学手続の際にも必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ホ 口述試験は、受験者本人の了承を得て録音することがあります。録音した内容は、より公正な試験を維持するためにのみ、本学内で使用します。
- ヘ 事前に試験会場の下見はできますが、試験室内への立入りはできません。
- ト その他連絡事項が生じた場合は、受験票送付の際に通知します。

6 合格発表

(1) 発表期日 **令和6年2月2日（金） 午後1時頃**

(2) 発表方法 次の方法により発表します。その他の方法による問い合わせには一切応じません。

- イ 合格者に対して合格通知書を送付します。
- ロ 宮城大学のウェブサイト (<https://www.myu.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲示します。

7 入学手続

(1) 入学手続期間 **令和6年2月5日（月）から令和6年2月13日（火）午後5時まで【必着】**

- イ 下記（3）の提出書類を簡易書留速達による郵送又は持参にて提出してください。
- ロ 郵送により提出する場合は、必ず「簡易書留速達」により送付してください。入学手続期間を過ぎて

到着したものは、受理しません。

ハ 直接持参の場合の受付時間は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとします。ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日は受付を行いません。

(2) 書類提出先 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
宮城大学アドミッションセンター

(3) 提出書類等

提出書類等	摘要		
誓約書兼保証書	様式は合格通知と併せて送付します。		
受験票	手続終了後、返却します。		
入学金振込証明書	- 入学金振込依頼書は合格通知と併せて送付します。 - 入学金納付後に渡される領収書のうち、大学提出用を提出してください。		
住民票又は戸籍の附票の写し（以降、「住民票等」と記載） 【該当者のみ提出】	- 次の票において、入学金の区分で「宮城県内の方」のイ又はロのいずれかに該当する場合、それぞれ右欄に記載する書類を提出してください。 - 住民票の写しは住民登録市町村、戸籍の附票の写しは本籍地市町村で、合格発表日以降に発行された原本を提出してください。		
	入学金の区分及び要件		提出書類
	宮城県内の方 （※1）	イ 入学許可の日（合格発表日）前1年間引き続き宮城県内に住所を有する方	合格者本人の住民票等（※2、※3）
		ロ 入学許可の日（合格発表日）前1年間引き続き宮城県内に配偶者又は1親等の直系尊属が住所を有する方	次の書類（2つとも必要） - 合格者の配偶者又は一親等の直系尊属の方の住民票等（※2、※3） - 合格者との関係を証する書類（戸籍抄本等）
	宮城県外の方		なし
	※1 宮城県内にお住いの場合であっても、住民票等で宮城県への住民登録が確認できない場合は「宮城県外の方」の入学金の金額となります。		
※2 対象者が令和5年2月2日以降に県内市町村間で転入出されている場合の住民票の写しは、現在のものに加え、令和5年2月2日以降の県内在住が証明できるまでさかのぼって、前住民登録市区町村が発行する「消除された住民票の写し」を提出願います。			
※3 戸籍の附票の写しについては、本籍地の市区町村で電算化等の改製を最近行った場合でも、令和5年2月2日以降の住所（法定年月日を含む。）が確認できるものを提出願います。			
修了証明書 【該当者のみ提出】	2 出願資格において、出願時点で見込みとなっている方のみ、合格通知の際に別に指定する期日までに修了証明書又は授与証明書を提出してください。		

(4) 注意事項

イ 提出書類に不足がある場合は受理できませんので、書類提出の際には十分に確認してください。

ロ 受理をした書類及び入学金等は返還しません（過誤納の場合を除きます。）。

ハ 入学手続を完了した者であっても、令和6年3月末日までに大学院等を修了できない場合は、入学許可を取り消します。

(5) 入学辞退について

イ 令和6年3月末日までに入学を辞退する場合は、入学手続完了前後を問わず入学辞退届（任意様式：研究科名、受験番号、住所、氏名、入学を辞退する旨を記載し、押印のこと。）を宮城大学アドミッションセンターへ提出してください。

ロ 令和6年4月1日以降の入学辞退はできませんので、退学手続をしてください。なお、別途、授業料を納付する必要があります。

8 初年度納付金（令和5年度入学者実績）

（1）入学金

合格通知と併せて送付する入学金振込依頼書により、最寄りの金融機関で次の金額を納付してください。

イ 宮城県内の方 282,000円

ロ 宮城県外の方 564,000円

（2）授業料

イ 年 額 535,800円

ロ 納付時期 入学初年度は5月（2年目以降は4月）と10月の2回に分けて納付

（3）その他納付金

学生傷害保険等実費が必要となります。詳細は、入学手続後追ってお知らせします。

9 その他

（1）研究にあたり必要な準備物等は、入学後に指導担当教員が指示します。

（2）奨学金（令和5年度入学者実績）

日本学生支援機構の奨学金の申込みは、入学後に行うことができます。奨学金の種類や利子の有無、貸与月額等は次のとおりです。その他制度の詳細は、日本学生支援機構のウェブサイトにてご確認ください。

【日本学生支援機構 <https://www.jasso.go.jp/index.html>】

奨学金の種類	利子	貸与月額
第一種奨学金	無利子	50,000 又は 88,000 円
第二種奨学金	有利子	50,000 円～150,000 円

（3）授業料の減免等

経済的理由により、授業料の納付が困難な学生で、学業成績等所定の基準を満たす者に対しては、授業料減免の制度があります。また、納付期日までの授業料納付が困難な学生に対し、納付期日の変更等の制度があります。

（4）住居

本学が設置する学生寮はありませんが、アパート等に関して、宮城大学生協において情報を提供します。

（5）試験成績の開示

イ 開示内容 科目別得点及び総合得点並びに総合得点による順位

ロ 受付期間 令和6年2月5日（月）から令和6年3月5日（火）まで
（土曜日、日曜日、国民の祝日、2月22日（木）及び2月26日（月）を除く。）

ハ 受付時間 午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで

ニ 開示場所 宮城大学事務局（大和キャンパス） 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

ホ 必要書類 受験者本人が申込みを行う場合は、受験票を持参してください。受験者の法定代理人が申込みを行う場合は、受験票、戸籍謄本等法定代理人の資格を有することを証する書類、及び運転免許証等法定代理人を証する書類の3点を持参してください。

ヘ その他 電話・電子メール等の通信による問合せには一切応じません。また、受験者本人及びその法定代理人以外の方からの請求は、受付できません。

（6）入学者選抜試験成績等の個人情報について

入学者選抜試験実施に伴い、本学が保有した試験成績等を含む個人情報については、入学者選抜に関する業務のほか、入学前教育や入学後の教務・学生支援及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収、統計情報のとりまとめや調査・分析等の大学運営に資する業務に利用します。なお、統計情報や調査・分析結果の公表に際しては個人が特定できないよう処理を行います。また、各業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下、受託業者という。）において実施することがあります。業務委託にあたっては、受託業者に対して、委託する業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供するこ

とがあります。

(7) 長期履修制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士後期課程3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望する場合は、所定の申請を行うことにより、長期履修を認める制度があります。長期履修の期間は在学年限（博士後期課程5年）の範囲内とし、手続は原則として入学時に行います。なお、基本的には、通常のカリキュラム・授業時間割を使用し、教育・研究指導が行われます。

氏名 (10pt MS 明朝)

1 枚目のみ記入

見出しは 10pt MSゴシック

本文は 10pt 明朝

左マージンは20mm

A4判の用紙2枚以内を用い、ワープロソフトにより作成してください。なお、本学ウェブサイト (<https://www.myu.ac.jp/>) からテンプレートをダウンロードできます。

文字数は4,000字以内（図表等を含む）、文字の大きさは10ポイント以上とし、①研究目的、②研究動機・問題の背景、③研究方法等について記載してください。

右マージンは20mm

A 10x10 grid of circles. The first nine rows are completely filled with 10 circles each. The tenth row is partially filled with 4 circles on the left, leaving 6 empty spaces on the right.

A 5x20 grid of small circles. The first four rows are full, each containing 20 circles. The fifth row contains 15 circles, followed by five empty spaces.

[illegible]

(なくても可)

図 タイトル

令和6年度事業構想学研究科博士後期課程（事業構想学専攻）概要

1 事業構想学の意義

「事業構想学」とは、事業の着想・計画・実現・運営の諸過程を研究対象とする学際的かつ総合的な経験科学の一分野である。この事業の着想から事業運営にいたる一連の過程が「事業構想」といえるが、これには多くの知識、技術が相互かつ密接に関わる。この目標を実際に達成するには、絶えず進化してやまない学問と技術の成果を個別専門的に検討するのみならず、学際的立場から総合的な再構築を図り、世界に開かれた学問としてさらに高度化しなければならない。当然のことながら、従来のような縦割りの学問では事業構想へのアプローチは難しい。個々の研究者が問題意識を高め、学問領域を仕切る従来の境界を突破することで、学問のフロンティアが拓かれる。また、事業構想学という目標に向けて、これまでの知識・技術の成果を学際的に再構築し、有機的に融合することによって研究の相乗効果（シナジー）が期待できる。ここに、事業構想学の真骨頂がある。つまるところ、事業構想学とは、個別の学問分野ではなく、事業構想に関わる個々の学問やノウハウの総称ともいえよう。

事業構想学研究科は、事業構想学群で目指した事業構想学の理念をさらに深く追求するために設置された。すなわち、事業構想学の確立という目標を、教員、学生の共通認識とし、この目標に沿って社会科学系の学問知識と自然科学系の技術成果をより有機的に活用する。個々の研究者には、それぞれの学問領域に閉じこもらず、地域社会が抱える諸問題の解決やプロジェクトの推進に積極的に関わるとともに、将来を見据えて本研究科の学問・技術の目標を絶えず引き上げる努力が求められる。それには、引き続き絶えざる研鑽を積み重ねなければならない。このようなスタンスで本研究科は、従来の日本の大学院教育が目指してきた既成学問の「蘊奥を究める」だけでなく、研究と教育の双方に軸足を置き、実務・事例を中心とした講義と演習を行う。

2 人材養成目標とディプロマポリシー

[人材養成目標]

ビジネスプラン・地域プラン及び空間デザイン・情報デザインの高度専門職業人並びに高度に専門的な研究能力を持つ職業人及び自立的研究者を養成すること

[ディプロマポリシー]

事業構想学研究科博士後期課程では、以下の要件を満たした者に対して、博士（事業構想学）の学位を授与する。

- (1) 事業構想とその実現のための高度に専門的な知識・技術及び実践能力を有する。
- (2) 事業の創出や地域社会の課題抽出とその解決の方策を立案でき、さらにそれらを体系的かつ論理的にモデル化できる。
- (3) 研究成果を活かしつつ、学際的、国際的な視点で産業や地域社会の発展をリードするプロジェクトマネージャ、研究者として貢献できる。

より良い未来社会の実現に向けて、様々な分野における特定の課題を対象に、その解決のための事業の着想から事業運営にいたる一連の過程の事業創造の役割を担い、国内外の企業・行政・地域社会などのあらゆる場面における先端的諸問題の発見・解決が出来る独創的な研究能力と事業能力を有するプロジェクトマネージャを養成する。同時に世界に開かれた学問としての事業構想学の理念と応用の技術をより

体系化しその教育に携わることのできる研究者を養成する。

本課程で養成するプロジェクトマネージャの資質として、①時代の変化にあわせた経営・技術環境の分析・予測ができ、②実践に応用するための企画・設計・開発・事業創造が行え、③さらに、これらを総合・統合して管理・運営する能力が要求される。プロジェクトマネージャには、各種ビジネスプロジェクトの最前線でのプロデューサとして、あるいは地域コミュニティの再生・活性化を含む広義のサービス産業を中心とした公的分野・非営利分野の各種プロジェクトのリーダーとして活躍し、東北地方の産業振興をはじめとする地域振興に寄与することが期待されている。

これからの新しい事業創造の役割を担うプロジェクトマネージャ及び自立的研究者を養成するため、事業構想学研究科では、これまでの学問領域の枠組みを越えた教育課程を編成し、ビジネスデザイン系、ソーシャルデザイン系、空間デザイン系、情報デザイン系の専門分野の教員により、実務・事例に立脚した高度な知見に基づいた講義・演習を行うとともに、教員・学生が一体となり、新たな事業創造を目指した研究活動を展開する。

3 教育課程の編成と研究の進め方

[カリキュラムポリシー]

事業構想学研究科博士後期課程では、先端的諸問題の発見と解決ができる独創的な研究能力と事業能力を有するプロジェクトマネージャ及び研究者育成のために、以下のカリキュラムを編成する。

- (1) 事業構想の高度かつ先端的な専門知識と技術を修得するため、ビジネスデザイン系、ソーシャルデザイン系、空間デザイン系、情報デザイン系の演習科目を設ける。
- (2) 独創的な研究能力・実践能力を培うため異なる系の演習科目の修得を必修とし、多角的な視点からの発想力と分析力を培う。
- (3) 研究能力の育成及び着実な論文執筆のための研究指導科目を設ける。

修了認定は、3年以上在学し所定の科目（特別演習8単位以上（指導教員が担当するものを含めること）、特別研究8単位以上を合わせて計16単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格した者について行う。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年（2年未満の在学期間をもって修士課程又は博士前期課程を修了した者）にあっては、当該在学期間を含めて3年以上在学すれば足りるものとする。

授与する学位は博士とし、学位に付記する専攻分野の名称は、次の通りとする。

博士（事業構想学）：Doctor of Project Design

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) 【科目の一般概要】 事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) (以下「特別演習 I a・I b」) は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習 I a・I bを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ(企業インターンシップを含む)指導する。 特別演習 I a・I bは、ビジネスデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【税法・社会関連会計特別演習】 事業構想における租税法分野の役割は、新しい事業価値創造の実現可能性を担保するために、その適法性や公共性の判断や税額算定から、意思決定情報を提供することにある。そのため、法律の解釈論をベースとして、理論構築や算定を展開させていく。 具体的には、 ①事業価値創造と租税法解釈 ②事業価値創造と租税法の制約要件の検討 ③事業価値創造と租税法上の課題の考察 ④税額算定と代替え案の比較からの有利選択 この4つを軸として、演習を進める。	教授 内田直仁
	【医療福祉システム特別演習】 ①医療福祉分野の制度を理解し、その諸課題について総括する。 ②診療報酬体系のあり方とそれが病院経営に与える影響について実証的に分析する。 ③医療福祉の情報システムについてのあり方を検討する。 ④保険薬局やその他の医療福祉関連機関との連携について学習する。 ⑤認知症に関する知識を学習する。 ⑥特に認知症の行動的心理学的症候 (Behavioral and Psychological Signs and Symptoms of Dementia: BPSD) の特徴と対処方法を考察する。それによって、医療が福祉とどのように連携を取るべきか、どのように機能分化や機能統合を進めるべきか学修する。	教授 糟谷昌志
	【産業経済学特別演習】 本演習科目では、営利・非営利を問わずプロジェクト運営に必要な費用最小化、利潤最大化の概念を基礎として、ミクロ経済学の観点から企業行動について理論的に考察する。企業数や参入障壁の相違により市場構造を分類しながら、寡占市場での競合企業の行動に対する最適な戦略を分析する。また、地域活性化に必要な協調的行動についても検討しながら、企業行動が均衡価格や経済厚生に与える影響を解明していく。受講生の関心に即したテキスト及び専門論文を輪読する形式で、オーソドックスな理論と最新の研究内容の双方を理解し、先行研究において示された帰結や残された課題を精査する。	教授 金子浩一

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) 【科目の一般概要】 事業構想特別演習 I a・I b (ビジネスデザイン) (以下「特別演習 I a・I b」) は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習 I a・I bを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ(企業インターンシップを含む)指導する。 特別演習 I a・I bは、ビジネスデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【人材・組織マネジメント特別演習】 本演習では、「組織における人間」の存在について、①構成主体、②行動主体、③意思決定主体、④成果規定主体、これら4側面に基づいて分析し考察する。学術研究を機能的に推進するため、①基本的視座の設定、②フレーム・ワークの構築、③研究仮説の設定、④仮説モデルの設計、⑤分析方法の選択、の「能力」を喚起し育成する。分析方法として「定量的分析(多変量解析)」と、「定性的分析(ヒアリング調査・参与観察調査など)」とを習得する。併せて、人事制度(評価・報酬・育成)、組織ストレス、組織風土、組織文化などの組織環境にも言及し、持続的な競争優位の源泉である人間を有効に育成するためのCDP施策を設計し、提示できる能力の涵養を図る。	教授 櫻木晃裕
	【サービスサイエンス特別演習】 本演習では、技術やサービスの急速な進歩において、サービスマネジメントをどの様に実践するべきかを議論する。具体的には、サービスの最新動向を取り上げ、サービス・ドミナント・ロジック、サービスエコシステム、サービスプラットフォームなど様々なフレームワークを用いて成功要因・失敗要因を考察する。また、技術経営の視点から、知財管理、マーケティング、新規事業開発などについて考察をする。	教授 澁田一夫
	【経営戦略特別演習】 変化の激しい社会経済環境のなかで、組織業績を創出している企業には優れた経営戦略が存在する。しかし、経営戦略を立案しても、それを実行するための組織をつくり、人を動かすことができれば、経営戦略は画餅に帰す。そこで本講義では、経営戦略論の発展系譜を踏まえながらも、経営理念・目的を掲げる→経営戦略を立案する→組織と人事システムを設計する→組織・人事システムを運用するという一連の経営活動を、相互に関連づけて分析し議論する。	教授 高橋修

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 Ia・Ib (ビジネスデザイン) 【科目の一般概要】 事業構想特別演習 Ia・Ib (ビジネスデザイン) (以下「特別演習 Ia・Ib」) は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習 Ia・Ibを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ(企業インターンシップを含む)指導する。 特別演習 Ia・Ibは、ビジネスデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【社会システム特別演習】 地域の産業活性化や生活環境維持・改善のためには、社会基盤施設の整備とともに法制度や補助制度など、ハードとソフトを併せた社会システムとしての検討が必要となる。本演習では、特にまちづくりと交通が産業活動や生活環境に与える影響に焦点を当て、まず、これまでのシステム変更の影響について文献調査や事例調査により学ぶ。次に、計画プロセスにおいて必要となる統計分析、将来予測、最適化技法、評価手法などの理論について学ぶ。さらに、それらの手法を個別課題に適用することによって計画プロセスを学ぶとともに、その手法の特性や適用限界などについて理解を深める。	教授 徳永幸之
	【マーケティングサイエンス特別演習】 本演習では、マーケティングリサーチ手法の体系的な理解と様々な事例への適用方法を学ぶ。調査スキルを身につけるにとどまらず、科学としての必要条件や適用限界、調査結果の活用方法、最新の調査分析手法などを学び、高度な技術を持った実務家・研究者になるための必要な能力を身につける。具体的には、消費者心理、人間中心設計、感性工学、認知科学、User Experience など、顧客・ユーザー理解研究のトップジャーナルを題材にし、議論を中心に進めていく。	准教授 安藤裕
	【管理会計特別演習】 授業形態は、全受講生と個別指導の両形態。具体的には、国内外の戦略管理会計、及び管理会計システムに関する研究の動向の説明、及びそれに関する研究の方法等の紹介は全受講生向けに講義。個人の研究の進捗にもよるが、個人の研究テーマの設定および研究に関する指導は個人向けに講義。目標は国内外の戦略管理会計、及び管理会計システムに関する研究の動向を理解するとともに、個人の研究テーマを設定し、研究を進めることとする。授業計画は、受講生の興味関心・研究の進捗状況に沿ってその都度策定していく。	准教授 絹村信俊

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン）（以下「特別演習Ⅱa・Ⅱb」）は、博士（後期3年の課程）の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅱa・Ⅱbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅱa・Ⅱbは、ソーシャルデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【地域環境政策特別演習】 ①環境政策における法制度システムの機能、役割、その実践方策について、具体的事例をあげながら検証を進める。 ②地域環境政策の対象となる、自然環境、社会環境、歴史環境を活用した環境整備、環境保全、事業立案など個別のテーマにおける政策システムの制度論について、実例を用いながら、それぞれに考察を加えるとともに、政策決定のプロセスを探る。 ③今後の環境政策に景観工学的視点を導入する方法論を検討する。	教授 小沢晴司
	【コミュニティビジネス特別演習】 本演習は、持続可能な社会の構築に向けた政策課題や経済問題等を分析し、そのソリューションとしての「持続可能な地域創造手法」を学ぶものである。具体的には、①現代の地域社会の問題を研究論文や行政報告書等から分析を行うとともに、②行政、企業、住民等に対するヒアリング調査やワークショップ等を行い、③地域資源を活かした「地域市民事業（コミュニティビジネス）」の創造プロセスを習得していくものである。コミュニティビジネスは、地域の課題や特性を踏まえながら、コミュニティ主体の地域再生事業を創造するビジネスモデルであり、本演習は、そのための基本条件を実践的な視点から習得していくものである。	教授 風見正三
	【農業農村整備計画特別演習】 地域の産業活動活性化や生活環境維持・改善のためには、社会基盤施設の整備とともに法制度や補助制度など、ハードとソフトを併せた社会システムとしての検討が必要である。本演習では、特に社会資本整備や土地利用等のハード・ソフトの両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある地域づくりを進める取組としてのグリーンインフラに焦点を当て、まず、国内外における事例調査によりその概観について学ぶ。次に、農業・農村の多面的機能とグリーンインフラとの関係について探求する。さらに、グリーンインフラの具体的内容を取り上げ、自己の研究枠組みとの関連性を整理する。	教授 郷古雅春

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン）（以下「特別演習Ⅱa・Ⅱb」）は、博士（後期3年の課程）の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅱa・Ⅱbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅱa・Ⅱbは、ソーシャルデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【農村振興・土地改良特別演習】 地域における農業と環境の問題点を幅広く抽出し、科学的な検証を行いながら農業の生産性と品質の向上、農地の災害復旧につながる手法を考えていく。現地調査やプレゼンテーションを通じて地域の農業の活性化に寄与することができるスペシャリスト養成を目指す。	教授 千葉克己
	【コミュニティシステム特別演習】 コミュニティに関わる理論的な論点（市民社会、討議デモクラシー、ソーシャル・キャピタルなど）に関する、体系的な整理と検討を通して、それぞれの研究の主眼を明確化し、学問領域の中での位置づけを明確化する。さらにこうした検討作業を通して、仮説構築を行い、この仮説をどのような方法に基づいて検証を行うことが可能であるか方法論の検討を行う。これらを踏まえて、それぞれの研究課題の論文化に向けての具体的な工程を作成する。	教授 藤澤由和
	【地域企業・地域産業特別演習】 地域企業と地域産業に関する諸理論を体系的に整理するとともに、地域企業・地域産業の実態を的確に把握するために市場、経営資源、人材スキル、ポテンシャル、リスク等について、精緻な現地調査に基づく検討、分析を行う。特に地域クラスターと個々の企業との競争的、協調的行動が地域イノベーション創出に与える影響を考察する。その上で、自身の研究テーマに関して学術的な位置づけを行い、仮説の設定と検証方法を検討する。	准教授 青木孝弘

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン）（以下「特別演習Ⅱa・Ⅱb」）は、博士（後期3年の課程）の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅱa・Ⅱbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅱa・Ⅱbは、ソーシャルデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【地域環境システム特別演習】 安全で快適な生活環境を保障し、かつ良好な都市環境を保全するため、社会資本整備が社会や自然に及ぼす影響・責任について国内外の最新の研究成果を基に輪講や討議を行う。さらに、地域資源を保全しながら持続可能な地域社会を築くためのマネジメントの考え方や手法について理解するとともに、都市や地域における人間活動がもたらす地域環境へのインパクトについて各種の統計情報や地域環境情報を用いて分析・評価し、地域の実情に即した社会のあり方について考察する。	准教授 石内鉄平
	【地域開発政策特別演習】 ローマクラブにより成長の限界が提示されて以降、今日のSDGsに至るまで様々な分野から持続可能な開発に関する提言が行われてきた。本演習では、経済的視点から国内外の研究成果をもとに、持続可能な開発に関する討議を行い、地域資源を活用した内発型の地域開発手法についての考察を行う。とりわけ、各省庁の提示する地域共生社会や地域循環圏構想、コンパクトシティの構築における社会起業家や社会的企業の行動分析を行い、持続可能な地域経営マネジメントのあり方に関する検討を行う。	准教授 佐々木秀之
	【環境地域情報学特別演習】 近年の空間情報科学の先駆的研究を取り上げ、地域の社会問題や自然環境の実態・課題、およびそれらの関係性を分析するための方法やその結果を読み取り、考察するための地理学的思考を習得することを目指す。さらに、地理情報システム（GIS）の演習を交えながら、実際に個々人の研究関連分野の空間データ（各種統計データ、衛星画像から抽出したデータなど）を取得、加工、分析、出力することを通して、空間データを分析するための情報処理能力の向上も目標とする。	准教授 高橋信人

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅱa・Ⅱb（ソーシャルデザイン）（以下「特別演習Ⅱa・Ⅱb」）は、博士（後期3年の課程）の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅱa・Ⅱbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅱa・Ⅱbは、ソーシャルデザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【地域経済デザイン特別演習】 本演習においては、博士論文の執筆に際して求められる、研究における理論的、方法的な知見を整理し、各々の検討課題との関連からその論点の整理を行う。具体的には、特定の領域における研究課題の理論的論点と方法的な特徴を整理し、自己の研究枠組みとの関連を明確化させる。さらに、そうした関連が、今後の研究および博士論文の執筆においてどのような発展性を持つものであるかを明確化させることを最終的な目標とする。 【防災マネジメント特別演習】 本演習においては、ケースや実践事例を題材としたディスカッションを中心に構成し、海外も含めた防災・減災に関する議論をもとに、日本および東北地方の災害を踏まえながら、実社会における防災・減災のあり方とその適切なマネジメント手法の実践について分析、提案能力の向上を図り、当該課題における発展的な研究能力の習得を目指す。また災害マネジメントサイクル、防災計画、コミュニティレジリエンス、防災や災害復興に関連する各種政策等について、実社会の課題を題材に発展的に理解を深めることを通して研究能力の獲得を目指す。	准教授 宮崎義久 助教 中沢峻

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習Ⅲa・Ⅲb（空間デザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅲa・Ⅲb（空間デザイン）（以下「特別演習Ⅲa・Ⅲb」）は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅲa・Ⅲbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅲa・Ⅲbは、空間デザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【数理造形デザイン特別演習】 ファブラボと呼ばれるデジタルファブリケーション機材を備えた市民工房が世界各地に設立され国際的なネットワークを通じてローカルなものづくりの知識や経験が共有される環境が整いつつある。これまでものづくりに参加できなかった個人でさえ、この仕組みの上で事業を開始することが現実的な選択肢になりつつある。こうした背景においてローカルな素材や技術を用いたものづくりを、世界に向けて発信するための基礎的な知識や実務上の事情を理解することを目的とする。	教授 土岐謙次
	【都市マネジメント特別演習】 既存の科学のみならず最新の技術までを広く対象とし、都市・建築分野やその周辺領域における諸課題の解決、ならびに社会の発展のための真理の追究に向けて、ゼミ形式で授業を行う。観察・調査・実験を行い、また討議を行うことによって、それらの成果をとりまとめる能力も磨いていく。(1)課題探究の基礎となる多面的なアプローチによって社会への理解を深めること、(2)実現可能性や社会実装の方法も確認しながら、自らの問題を探索・発見することができること、を到達目標とする。	准教授 小地沢将之
	【ファシリティマネジメント特別演習】 事業を推進する場として不可欠な施設、空間について、事業の成否に大きく影響するファシリティ・マネジメント（FM）、計画条件設定プロセス（建築プログラミング）に関する研究を推進するための基礎的な知識や実務の実情などを理解する。そのために、学術論文の収集と講読、実務におけるプログラミング事例の調査・分析を通して、学問体系、理論や手法を学ぶ。 事業を推進する場として不可欠な施設、空間について、事業の成否に大きく影響するファシリティ・マネジメント（FM）、計画条件設定プロセス（建築プログラミング）に関する研究を推進するための基礎的な知識や実務の実情などを理解する。そのために、建築プログラミングの方法論に関する関連資料の収集と講読、既存施設事例を対象に実情把握・問題点分析・計画条件設定といったプログラミングに関わる演習を通して、学問体系、理論や手法を学ぶ。	准教授 永井秀幸

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 Ⅲa・Ⅲb（空間デザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習Ⅲa・Ⅲb（空間デザイン）（以下「特別演習Ⅲa・Ⅲb」）は、博士（後期3年の課程）の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習Ⅲa・Ⅲbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む）指導する。 特別演習Ⅲa・Ⅲbは、空間デザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【プレイスメイキング特別演習】 本特別演習においては、プレイスメイキングを中心とした指導内容に沿った討論、議論等を通じて、研究テーマの選定、研究の進め方、研究計画、研究評価、学会等への発表計画、論文の構成等の体系的かつ効果的な問題解決の実践及びその方法の習得、その過程の中から新原理の探求を目指す。特に空間・生活・文化に関する視点とプレイスメイキングを中心に指導を行う。	助教 友渕貴之

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 IVa・IVb（情報デザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習IVa・IVb（情報デザイン）（以下「特別演習IVa・IVb」）は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習IVa・IVbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む。）指導する。 特別演習IVa・IVbは、情報デザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【サイバーフィジカルシステム特別演習】 本特別演習では、情報空間と現実空間の融合により形成されるサイバーフィジカルシステムの探究を主たる目的とする。モバイルコンピューティングとその上で展開される様々なメディアシステムを題材に、講義・輪講等を通じて、構成要素技術であるAI、IoT、5G等とそれらを応用したユーザ行動認識等の分析手法の理解を進めていく。さらに文献調査等を通じて当該分野に関する最新技術動向の把握を行い、サイバーフィジカルシステム実現のための課題抽出とその解決のための方策について討議を進め、その将来を明らかにしていく。	教授 太田賢
	【認知情報学特別演習】 システムの一要素としての人間の諸特性について、身体・行動・認知及びそれらを支えるメカニズムの観点から、幅広い研究リソースに対して最新の知見を調査・取材し議論を行う。特に、認知科学、脳科学、心理学に関連した学術論文の輪講、議論が中心的な作業となる。心理学の分野としては基礎心理学が中心となるが、必要に応じて社会心理学、発達心理学、臨床心理学などの知見にも積極的に当たる。また、人間の諸特性を実験的に検討するための方法論についても実習を交えて学んでいく。具体的には、社会調査法、多変量解析を含むデータマイニング及び統計手法、心理物理学測定法、生体電気測定法、脳イメージング等の手法である。	教授 茅原拓朗
	【情報システム設計特別演習】 情報システムを、企画、設計、構築、試験、及び文書化するための高度な技法を演習により修得する。具体的には次を学ぶ。 （１）形式手法を用いることにより、各過程を通じた整合性を担保する。（２）アジャイルなプログラム管理を行う。（３）マルチエージェントによりシステムをモデル化し実装する。（４）クラウド化したインフラストラクチャーを活用する。（５）メタプログラミング及びアスペクト指向を含む高度なプログラミング技術を活用する。	教授 須栗裕樹

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	講義等の内容	担当教員
事業構想特別演習 IVa・IVb（情報デザイン） 【科目の一般概要】 事業構想特別演習IVa・IVb（情報デザイン）（以下「特別演習IVa・IVb」）は、博士(後期3年の課程)の中心となる事業構想学特別研究を補助する目的で開設する。関連論文の輪読、先行研究のサーベイ、現実問題の理解と解決方法の実践・理解などにより、専門的知識を一層高めるとともに、研究の方法等を深める。先行研究に基づいた研究プロトコルを提出することを本科目の最終課題とする。 また、特別演習IVa・IVbを行うに当たって、有益であると認められる場合は、指導教員の指導の下に、企業等他の研究機関・施設とコラボレーションしつつ（企業インターンシップを含む。）指導する。 特別演習IVa・IVbは、情報デザイン領域の学問分野を専門とする教員による演習指導科目であり、事業計画の視点から事業構想学を捉える。	【社会基盤情報システム特別演習】 道路や鉄道等の交通社会基盤に関連する情報システムに注目し、計画・設計、施工、維持管理・運用等の交通基盤施設のライフサイクルにおける各フェーズで利用される情報システムを取り上げ、国内外の最新の研究成果を基に輪講や討議を行い、当該分野における理論・最新技術について体系的に理解するとともに、現状の技術的問題点を明らかにする。さらに交通社会基盤と情報システムとの融合により創出される新しいサービスモデルとその実現の可能性について討議を行い、交通社会基盤の情報化の将来について考察する。	教授 蒔苗耕司
	【人間情報デザイン特別演習】 人間と情報通信技術との界面にある多様な社会・環境・認知等に関連する課題を取り上げ、国内外の最新の研究論文の輪講や討議を行う。これを通じて、人間情報学を取り巻くデザインに関する理論や最新技術を体系的に理解する。加えて、情報システムを構成する物質面と非物質面の両側面においてデザインを捉え、それらが生み出す体験について考察できる思考プロセスの獲得を目指す。	准教授 鈴木優
	【教育メディアデザイン特別演習】 DX(Digital Transformation)とは、デジタル技術を用いて従来にない課題解決を創出することである。本演習では、様々なデジタル技術を体験することで、受講者が日頃感じている問題や課題等についてデジタル技術を活用することで解決する研究能力の獲得を目的とする。具体的には、①日頃の観察や体験から疑問や課題を発見する方法を習得、②解決策を具体化（具現化）するための思考過程を習得、③データやデジタル技術の活用法を習得する。	助教 薄井洋子

《授業科目の概要》

令和6年度開講予定科目 ※今後変更の可能性あります。

授業科目・概要	担当教員
事業構想学特別研究 【科目の一般概要】 事業構想学研究科における研究指導においては、今後における事業構想学の発展や実学・実践の学問展開を目指す観点から、博士論文作成のための研究指導を行う目的で事業構想学特別研究を設ける。具体的には、指導教員との討論、議論等を通じて、研究テーマの選定、研究の進め方、研究計画、研究評価、学会等への発表計画、論文の構成等の綿密な指導により研究能力を高めるが、体系的かつ効果的な問題解決の実践及びその方法の習得、その課程の中から新原理の探求を目指す。	研究指導教員

《研究指導教員連絡先一覧》

職・氏名		主指導教員	副指導教員	連絡先	
教授	太田 賢	●	●	Tel	022-377-8347
				E-mail	otak@myu.ac.jp
教授	小沢 晴司		●	Tel	022-377-8338
				e-mail	ozawas@myu.ac.jp
教授	糟谷 昌志	●	●	Tel	022-377-8328
				E-mail	kasuya@myu.ac.jp
教授	茅原 拓朗	●	●	Tel	022-377-8369
				E-mail	kayahara@myu.ac.jp
教授	櫻木 晃裕	●	●	Tel	022-377-8372
				E-mail	sakuragi@myu.ac.jp
教授	須栗 裕樹	●	●	Tel	022-377-8352
				E-mail	suguri@myu.ac.jp
教授	千葉 克己	●	●	Tel	022-377-8278
				e-mail	chibak@myu.ac.jp
教授	土岐 謙次	●	●	Tel	022-377-8332
				E-mail	toki@myu.ac.jp
教授	藤澤 由和	●	●	Tel	022-377-8355
				E-mail	fujisaway@myu.ac.jp
教授	蒔苗 耕司	●	●	Tel	022-377-8368
				E-mail	makanae@myu.ac.jp
准教授	石内 鉄平		●	Tel	022-377-8386
				e-mail	ishiuchit@myu.ac.jp
准教授	小地沢 将之		●	Tel	022-377-8362
				e-mail	kochizawam@myu.ac.jp
准教授	佐々木 秀之		●	Tel	022-377-8354
				e-mail	sasakih@myu.ac.jp
准教授	鈴木 優		●	Tel	022-377-8326
				e-mail	suzu@myu.ac.jp
准教授	高橋 信人		●	Tel	022-377-8365
				e-mail	nobuto@myu.ac.jp
准教授	永井 秀幸		●	Tel	022-377-8342
				e-mail	nagaih@myu.ac.jp

【補足】

出願時には、原則として、志望する主指導教員のみを指名します。主指導教員の欄に●がない教員の研究内容に関する研究を行いたい場合は、当該教員は副指導教員となります。この場合は、主指導教員の欄に●がある教員を1名選定し、出願書類には主指導教員と副指導教員の両方を記載してください（受入れが可能であるか両名から確認してください）。

入学者選抜手数料支払方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON
Loppi

MINISTOP
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学名 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票**」/「**申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

(注意) 本学への出願は、出願期間最終日の消印有効となります。コンビニ端末での手続き後、お近くの郵便局での手続きが必要となりますので、出願期間最終日には、お近くの郵便局で当日の消印処理が可能であるか十分に確認のうえ、この後の手続きにお進みください。(※出願期間最終日の受付締切時間は22時となりますのでご注意ください。)

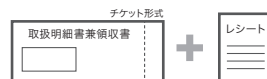
① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



② お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**取扱明細書兼領収書**」(Loppi)。



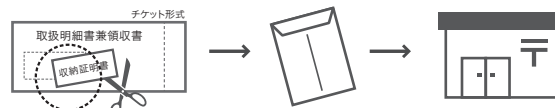
*お支払い済みの入学者選抜手数料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学者選抜手数料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学者選抜手数料の他に、払込手数料が別途かかります。
*払込期間初日は10時から手続き可能となります。

払込手数料(税込) 495円

3 出願

「**取扱明細書**」または「**取扱明細書兼領収書**」の「**収納証明書**」部分を切り取り、募集要項の指示に従って入学願書の裏面に貼り、郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問合わせ先】 宮城大学 アドミッションセンター TEL 022-377-8333 (受付時間) 月曜～金曜 8:30～17:15 *土曜・日曜・祝日を除く
【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

宮城大学^{たいわ}大和キャンパス

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

電話 022-377-8359

【JR仙台駅からの交通案内】

JR仙台駅から公共交通機関を利用する場合は、(1)仙台駅発着路線バス又は(2)仙台市地下鉄南北線を利用する方法があります。

(1) 仙台駅発着路線バス（宮城交通バス）を利用する方法

JR仙台駅西口のバスプール2番から、路線バス（宮城交通）「宮城大学・仙台保健福祉専門学校」行きに乗車してください。県庁市役所・泉アウトレットを経由する路線と上杉通・泉アウトレットを経由する路線のどちらも乗車可能です。宮城学院、泉アウトレットを経由し、所要時間約50分で「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」バス停留所に到着します。（片道料金700円：令和5年10月1日現在）

(2) 仙台市地下鉄を利用する方法

① JR仙台駅からは地下1階の自由通路を通り、隣接する仙台市地下鉄仙台駅に向かい、地下鉄南北線「泉中央」行きに乗車してください。所要時間約15分で泉中央駅に到着します。（片道料金310円：令和5年10月1日現在）

② 仙台市地下鉄泉中央駅で地下鉄を下車し、路線バス（宮城交通）に乗り継ぐか、又は、タクシーを利用してください。

ア 路線バス（宮城交通）を利用する場合は、東1出口からバスプール3番に向かい、「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）に乗車してください。宮城大学を経由しない路線もありますのでご注意ください。桂・高森地区経由で所要時間約30分、アウトレット・JCHO病院地区経由で所要時間約35分です。「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」バス停留所で下車してください。（片道料金420円：令和5年10月1日現在）

イ タクシーを利用する場合、泉中央駅のタクシープールは駅舎2階北側にあります。

宮城大学にはキャンパスが2つあるほか、仙台市には「みやぎ台」という地区がありますので、行き先を告げる際は、「泉パークタウン隣の宮城大学」とはっきり伝えてください。

泉中央駅から所要時間約20分で、料金は片道2,000円程度です。

